

全国学力テストの結果は

Q 点数と順位はどうであったか。公表と学力向上の取組は

A 議会や関係機関と情報共有しながら、今後取り組んでいく



河村 善一 議員

答 (町長)
①各学校では、全国学力テストの結果を踏まえ、成果と課題を明らかにして、児童・生徒の可能性を広げられるよう、さらなる授業改善や、研修により授業指導力の向上を図っていく。
②公表については、県下の19市町のうち6市町が公表を予定している。町教育委員会では現在、学校別・町全体の平均正答率等の数値は公表していない。今後、現状や実態を、保護者や地域の皆様

問 通学路の安全確保について
6月に起こった大阪府北部の地震で、小学校のブロック塀が倒壊し、女児が犠牲となった。子どもの通学路にブロック



対策が求められる空家のブロック塀

答 (産業建設部長)
当該自治会の区長より所有者に対する指導について相談を受け、現地確認した。所有者に対して適正に管理を行うよう電話にて指導し、文書により通知をし、引き続き適正に管理するよう協議していく。
答 (農林振興課長)
①町内農業集落数全46集落のうち、27集落が策定している。
②農業組合長会議で、地域で話し合いを行って頂くよう促進している。また、集落からプラン策定にあたっての相談があれば関係機関と連携をし、適宜集落への説明を実施する。
③賃借料の平均額を提供している。
④地域差はあるが、農地集積や集団化を図ることで耕作者がたくりやすい環境をつくり、賃借料の向上につなげたい。

宇曽川・合流河川の浚渫計画について

Q 宇曽川の現状認識は

A 土砂の堆積や樹木の立木の状況を現地確認した



辰己 保 議員

問 町内10河川の治水対策を宇曽川の現状認識と対策と、宇曽川に合流するそれぞれの河川の浚渫計画について答弁を求める。

答 (産業建設部長)
6月19日、沖・宮後自治会と県湖東土木事務所と町で現地視察を行い、治水の抜本的な協議をした。
6月26日、県、東近江警察署、愛知消防署、町消防団で安全対策について現地視察。土砂の堆積や樹木の立木の状況を現地確認した。

問 東田堂地先の中部排水では、以前、豪雨により堤防を越水する事案があった。地元での河川清掃も限度があり浚渫を求める。

答 (産業建設部長)
県において本年の宇曽川に合流する南川、その上流の五の谷川の浚渫計画はない。今後も引き続き県と連携し、現地において実態調査を行い、河川を適切な状態に保全・回復させるように努める。

問 全国学力テストの結果
今年の4月に全国学力テストが実施され、7月31日に公表された。結果は、全国平均点より低いものであった。その結果を踏まえて問う。

答 (教育主監)
③各学校では、夏休み中に結果分析を行い、2学期が始まる前の職員会議において、調査分析結果を把握した。それを受けて2学期からの授業改善方策を決め、学校全体でその方策を共通理解し取り組んでいる。
また、学力向上に向け、家庭学習や規則正しい習慣が重要となるため、引き続き保護者の協力を求めていく。

問 通学路における危険なブロック塀の対策を
基幹道路並びにグリーンベルトが敷設されている通学路に存在するブロック塀を視察し、危険と思われるものも存在する。
子どもたちの安心・安全の確保から、国や県の制度と補助事業を活用した制度の創設を求める。

問 「愛荘町ゆめまちテラスえち」について
町長の施設づくりの哲学を尋ねる。
答 (町長)
施設を持続可能なものにしていくためにも広く町民の意見を聴いていく。



宇曽川上流

問 「愛荘町まちじゅう読書の計画」について
計画での「本を通して親子がふれあひ時間づくり」については、「本を通して親子がふれあひ時間づくり」「身近な場所に本がある環境」の課題に接近するため、今日までの取り組み、推進するための今後の手立てについて答弁を求める。
答 (図書館長)
「本を通して親子がふれあひ時間づくり」については、0歳から2歳ぐらいまでの子どもと保護者を対象に「おひざでだっこのおはなし会」を実施している。「身近な場所に本がある環境」では、図書館以外の場所でも町民の方が本を手取りやすく、読書しやすい環境を整えていくために「愛荘町まちじゅうライブ



愛知川図書館(児童室)